

ルート① (地域:7名、市:1名、市社協:1名、街角企画:1名)



ルート② (地域:11名、市:1名、市社協:1名、街角企画:1名)



ルート③ (地域:5名、市:2名、市社協1名、街角企画:1名)



ルート④ (地域:7名、市:1名)



ルート⑤ (地域:8名、市:1名)



伊丹小学校区 まちあるき【報告書】

- 2015年(平成27年)9月20日(日)10時～12時 伊丹小学校体育館
- 参加者／52名(住民38名、伊丹市7名、伊丹市社会福祉協議会3名、街角企画4名)
- 当日の流れ／①開会 ②まちあるき ③まちあるき結果のまとめ ④まちあるき結果の発表 ⑤閉会、今後の予定

伊丹小学校地区自治協議会は、地域ビジョン作成に向け、伊丹小学校区を歩いてまちの資源や課題を確認するため、「まちあるき」を開催しました。5歳から95歳まで、車いすの利用者や視覚障がいをもつ方も、38名の地域住民が伊丹小学校体育館に集まりました。

はじめに、佐々木自治協議会会長の「自分たちのまちをどれほど知っているのか？これで大丈夫なのか？」と問いかけながらまちを再認識してほしい。」というあいさつから始まり、浅野部会長によるこれまでの取り組み紹介、アンケート結果の報告の後、各グループでルートを確認し、5つのコースに分かれてまちあるきに出かけました。

各グループは案内係の方の丁寧な説明を受けながら歩き、普段はなかなか気が付かない地域の魅力や、日頃から気になっていた危険箇所、お気に入りの場所をふせんにメモしました。まちあるき後は、体育館に戻り、気が付いたことを書いたふせんを地図上にまとめ、グループごとに発表しました。当日のアンケートでは、「まちのよいところや課題を再発見できた」との感想が多くあがりました。

最後には、中谷事務局長から「みなさんの意見を聞きながら、より暮らしやすい地域に向けてよりよい地域ビジョンをつくっていききたい」と、ビジョン作りに向けた意気込みが語られました。

各グループのまちあるき結果については、次のページ以降をご覧ください。



